

## IBM SPSS Statistics 28 は、随時分析、仮説検証、予測分析による統計モデルの強化、プロシーチャーの向上、および生産性の向上によってビジネス結果の最適化を支援します

### 目次

1	概要	4	製品資料
1	主要要件	4	技術情報
2	出荷開始予定日	5	発注情報
2	機能詳細	58	契約条件
4	プログラム番号	58	料金

### 概要

IBM<sup>®</sup> SPSS<sup>®</sup> Statistics 28 を使用すると、組織は、随時分析、仮説検証、および予測分析によってデータを評価できます。本製品は、仮定を検証し、過去のパフォーマンスを分析し、傾向を予測する強力なツール・セットを提供します。

SPSS Statistics 28 の機能拡張には以下が含まれます。

- ・ メタ分析プロシーチャー、べき乗分析、および比率統計の機能拡張を含む統計方式
- ・ 構文と出力ファイル・タイプを組み合わせる新規のワークブック機能
- ・ データ可視化リレーションシップ・マップ
- ・ 表編集機能の強化およびその他の生産性の機能拡張

SPSS Statistics 28 の機能拡張には、新規の統計分析、既存のプロシーチャーに対する機能拡張、および組織が全体の生産性を強化するのに役立つ使いやすさの向上が含まれます。SPSS Statistics 28 には、以下の新機能が組み込まれています。

- ・ メタ回帰だけでなく、連続的結果とバイナリー結果のためのメタ分析
- ・ 結果のグラフィカル表現を示すためのべき乗分析の強化
- ・ 比率統計、片側 t 検定、ロジスティック回帰の参照カテゴリー、および COXREG に対する追加の機能拡張
- ・ 構文と出力を組み合わせるワークブックにする新規のファイル・タイプ
- ・ ハイコントラストのアクセシビリティ・サポート
- ・ 変数間のコネクションをリレーションシップ・マップと比較するための新規のデータ可視化
- ・ 追加の別名サポートによる検索機能の強化
- ・ 完了までのクリック数を減らす新規のサイド・ペイン表エディター

### 主要要件

SPSS Statistics Desktop 28 は、以下のプラットフォームで作動します。

- ・ macOS
- ・ Microsoft<sup>™</sup> Windows<sup>™</sup> 10

SPSS Statistics Server 28 は、以下のプラットフォームで作動します。

- ・ Linux<sup>®</sup>
- ・ Microsoft Windows 10

SPSS Statistics をインストールおよび実行するための最小ハードウェア要件について詳しくは、[IBM Software and Product Compatibility Reports Web サイト](#)を参照してください。

---

## 出荷開始予定日

---

2021 年 5 月 25 日：ダウンロードによる出荷開始

---

## 機能詳細

---

SPSS Statistics 28 は、組織が、計画、予測、および傾向ディスカバリーに使用できるデータから実用的な洞察を抽出できるように支援します。

以下のセクションでは、SPSS Statistics 28 の機能性と価値を拡張する新しいフィーチャーおよび機能について説明します。

### 分析方式

#### メタ分析

メタ分析は、さまざまな調査研究にわたる結果を合成および結合するための科学的プロセスを構成します。メタ分析では、効果サイズの大きさと潜在的な変動の原因に関する系統的レビューを提供できます。メタ分析の方式も、異質性検定、パブリケーション・バイアス評価、小規模試験効果の評価、およびメタ回帰に合わせて拡張されました。メタ分析で使用できるさまざまなチャートおよびプロットは、データ可視化、結果の要約、バイアス・イラストで広範囲に使用されます。

SPSS Statistics 28 には、以下のメタ分析プロシージャが含まれます。

- ・ 連続的結果のメタ分析：生データおよび事前計算の効果サイズ・データ
- ・ バイナリー結果のメタ分析：生データおよび事前計算の効果サイズ・データ
- ・ メタ回帰

#### プロシージャの機能拡張

##### Power Analysis の機能拡張

SPSS Statistics 28 には、結果のグラフィカル表現を作成するための Power Analysis プロシージャの機能拡張が含まれます。Power Analysis は、研究計画、設計、および伝導で極めて重要な役割を果たします。べき乗の計算は通常、サンプル・データ（おそらく小規模の試験的研究からのデータを除く）の収集前に行われます。べき乗の正確な見積もりは、統計的に重要な差異が真の対立仮説のもとでの有限サンプル・サイズに基づいて検出される可能性の度合いを調査員に伝えることができます。

すべての Power Analysis プロシージャにより、ユーザーは、単一のべき乗値ではなく一連のべき乗値を入力できるようになりました。これらのべき乗値は、個別（ポイント）値、特定の量で増分された一連の値、またはその両方の組み合わせの形をとることができます。この機能拡張により、べき乗値の表およびオプションで付随べき乗曲線グラフを生成できるようになりました。

##### Ratio Statistics の機能拡張

RATIO STATISTICS プロシージャは長い間、販売価格に対する資産評価額の比率の処理に関係する仕事に従事する資産評価専門家のための主力プロシージャと同様に、2 つの変数の比率に関する記述統計を取得するための便利なオプションになっています。元のプロシージャが実装されて以降、資産評価における一部の統計が認識される方法が進化しました。SPSS Statistics 28 では、International Association of Assessing Officers によって公開された [Standard on Ratio Studies](#) 文書に記載されているように、RATIO STATISTICS プロシージャが拡張され、現在の認識との整合性がより取れるようになりました。

このプロシージャーに対する最も重要な変更は、価格関連バイアス (PRB) の係数と、関連する信頼区間の追加です。PRB は、価格比率に対する評価が高価な資産に対して系統的に高いか低いかの指標です。PRB は、以下によって計算されます。

- ・ 値プロキシ指標の基本 2 対数に関する中央値比率からの評価額比率のパーセンテージ差異の回帰
- ・ 販売価格の平均と中央値比率に対して評価された値の比率の計算。これにより、値の 100 パーセント変更の評価額比率でのパーセント変化が与えられます。

この新たに使用可能な指標は、このプロシージャーに対するグラフィカル・ユーザー・インターフェースを使用する際に Statistics ダイアログでデフォルトで選択されます。これは、Analyze>Descriptive Statistics>Ratio によってアクセスされます。

その他の変更には、以下のものがあります。

- ・ Statistics ダイアログ・オプションからの中央値比率に基づく変動係数の除去
- ・ 変動係数 (COV) として平均比率に基づく残りの変動係数オプションの再ラベル付け (一般的な使用法と同様)
- ・ 統計が基づいているケースまたはプロパティの数を出力表に組み込むためのオプションを主要な Ratio Statistics ダイアログに追加 (保管済みの出力ファイルのケースまたはプロパティを提供することだけでなく)。

#### 片側 t 検定

旧バージョンでは、ユーザーは両側 t 検定を実行できましたが、片側 t 検定向けの出力を得るには追加の計算が必要でした。SPSS Statistics 28 では、ユーザーは、ダイアログを介して片側 t 検定を実行できます。

#### その他の統計の機能拡張

新規のグラフィカル・ユーザー・インターフェース制御は、一般線形モデル (GLM) および UNIANOVA を使用して設計されました。特に、追加のチェック・ボックス「シンプル主効果の比較」は、他の因子のレベル内でネストされた主効果の間の比較の指定をサポートするために「EM 平均 ...」サブダイアログに追加されました。

以下の観点で、LOGISTIC REGRESSION および COXREG ダイアログの「対比の変更」に調整が行われています。

- ・ 参照カテゴリー指定 (Indicator、Simple、および Deviation) を使用する対比タイプ向けのデフォルトの参照カテゴリー指定が「最後」から「最初」に変更されました
- ・ 「最後」のボタンと「最初」のボタンの位置がスワップされました
- ・ Categorical Covariates ターゲット・リスト内の変数のリストに合わせた新規「最終」ラベル付け

#### 使いやすさと生産性の機能拡張

SPSS Statistics 28 では、使用方法を簡素化し、労力を節約し、生産性を向上させるように使いやすさが強化されています。

- ・ Syntax ダイアログと Output ファイル・ダイアログを組み合わせる単一のファイル・タイプに入れる Statistics Workbook
- ・ 検索機能拡張には、メニュー・ダイアログへのリンク、ヘルプ・トピック、ケース・スタディー、および堅固な別名検索語による構文参照が含まれるようになりました
- ・ Relationship Map は、複数の変数間のリレーションシップを検査するための新規のデータ可視化を導入します
- ・ 新規の表編集サイド・ペインは、所望の表出力の実現に必要なクリックの数を減らします
- ・ ハイコントラストのアクセシビリティ・サポート

#### アクセシビリティ情報

---

標準へのアクセシビリティの準拠に関する詳細が記述されている Accessibility Compliance Reports (旧称 VPAT) (Worldwide Consortium Web Content Accessibility